

会 議 報 告 書

会議名	第3回消防委員会
日 時	令和8年1月21日(水) 午後6時00分～6時30分
会議場所	防災センター2階
出席者	消防委員 6人 総務部長 団長 事務局(地域防災課職員)3人
議題 及び内容	司会 事務局 1 開会 2 審議 (1)定員の削減について 審議内容は別紙審議質疑のとおり (2)その他 なし 3 その他 審議内容は別紙審議質疑のとおり 4 閉会

2 審議

(1)定員の削減について

- ・現役団員の統廃合の意向について説明(団長)
- ・配布資料について説明(事務局)

会長

新年あけましておめでとうございます。令和7年度消防委員会、第3回目となっております。今日は、団員の定数等の確認を行っていく予定です。会議の進行にどうぞご協力をお願いします。

それでは、これより審議に入ります。はじめに前回の審議内容と今回の審議について、事務局より説明をお願いします。

事務局

前回第2回の委員会では、分団・部の統廃合について様々なご意見をいただきました。各分団において、各地区の消防力を維持することを念頭におき、出動範囲の見直しなども再検討いただいた上で、それぞれ意見を出していただきました。その内容を基に、正副団長で議論した結果として、現役団の意見としては、分団・部の統廃合は、第4分団第2部、第3部、第4部、第5部の4つの部を1つに統合し、拠点は現第4分団第3部の詰所とする。第2部、第4部、第5部にある車両や資機材については、主に機能別団員により、有事の際に必要なに応じ活用していき、詰所については、防災拠点として、地域等での活用や備蓄倉庫・資機材倉庫として引き続き活用を検討していく、という意見でまとまりました。

以上の現役団意見を踏まえ、委員会で審議をいただいた結果、委員会としては、現役団の意見を尊重するという意見でまとまりました。

本日は、諮問の2つ目である定員の削減につきまして、ご用意しました資料や、後ほど担当から説明させていただきます現役団の意見を参考にいただき、持続可能な消防団体制を築くための定員の削減について、ご審議をいただければと思います。

なお、今年度の委員会につきましては、今回が最後の開催となります。次回は令和8年度に開催する予定ですが、次回で答申案が示せるよう、できれば本日、委員会としての意見をまとめていただきたいと考えております。以上となります。

会長

ありがとうございました。それではこれより審議に入りますが、本日は、定員の削減について意見をまとめていきたいと思います。まず、前回委員会での意見および配布資料についての説明を事務局からお願いします。

- ・配布資料について説明(事務局)

会長

ありがとうございました。それでは、これより審議に入りますが、本日の会議では、今事務局から説明のあった現役団の意見や、用意していただいた資料なども参考に、(1)定員の削減について、できればこの会議で方針を固めたいと思います。ご意見などがあればお願いします。

委員

特に問題ないと思います。定数の根拠がわかりやすいですし、この方針の中で団長判断のもと396人の中で運用していくということなので、急に首を切ることなく新しい人が入ってくれば上の人から抜けていけば良いような柔軟なシステムになっているので、この案で良いと思います。

委員

私も今委員が仰ったのと同様に定員の中で柔軟に対応ができるというところで、定員に満たな

い部分は機能別を置けるということなので、まとめていただいた内容で良いと思いました。

委員

よくまとまっているという感想です。1つ気になるのは、ポンプ車隊18人可搬ポンプ隊12人のところ両方ともが補充人員2人となっています。この必要な人員の割合について、1団では割れないのでこうしたんだと思いますが、実際大丈夫かなというところはこれから運用してみて検討するところかなという気がしています。

委員

特にございません。

会長職務代理者

皆さんの意見と同様です。

委員

出動範囲の見直しがされるようですが、多いところだと1回あたりの出動人員が70人を超えていて少ないところだと30人代とかなり開きがあると思いますが、そのあたりのところは現役団ではどのように検討されたのか教えていただきたい。

事務局

検討するにあたり、この地域は少ないとか多いとかをなくすように市全体のどこで火事が起きてもそれなりの人数で対応ができるように、ということを基本に正副団長で考えていただいています。少なくなっているところは離れているところであって、例えば草花を見ていただくと、一般団員39人・機能別団員9人の48人しかいない地区となっています。1分団・3分団から草花に行ったときにホースを延長して活動している時に、上代継で火災が発生したというときに、次の現場にいくまでに時間がかかってしまい空白地域になってしまうということを考えなければいけないという意見もあるため、そういったところを考えるとどうしても少なくなってしまうところも出ている。ただ、草花・菅生・瀬戸岡は2分団単独になっていますが、2分団は他とくらべて出動率がかなり高く、機能別団員も多く出動しているので、現状はという言い方になりますが、単独の分団でも苦勞しているとか足りなかったということがない状況です。将来的なことも踏まえてもう1度、分団でもよく揉んで再度検討していこうという流れになっています。

会長

必要とあらば団長判断でそのエリア外でも対応するような考え方を持っているという話も聞いていますので、臨機応変にお願いしたいと思います。

スムーズな進行にご協力いただき、ありがとうございます。今日の審議テーマは定員の削減とすることで396人という数字を示していただきました。今日のところは、定員を396人にするという事で意見がまとまったということでよろしいでしょうか。

全員

はい。

会長

以上で、今回の委員会における諮問事項である、分団・部の統廃合及び定員の削減についての審議が終わりましたので、ここで本委員会の答申をまとめたいと思います。

分団・部の統廃合については、第4分団第2部、第3部、第4部、第5部を統合して1つの部とし、第4分団第3部の詰所を拠点とする。第2部、第4部、第5部にある車両や資機材については、主に機能別団員により、有事の際に必要なに応じ活用していく。詰所については、防災拠点として、地域等での活用や備蓄倉庫・資機材倉庫として引き続き活用を検討していく。

定員の削減については、現定員の506名から、396名に変更する。

以上のようにまとめました。この内容で、事務局の方で、今回の諮問に対する答申案を作成していただき、次回の委員会で皆様にご確認いただきたいと思います。本日の内容や、次回以降の流れにつきまして、お気付きの点やご不明な点がございましたら、事務局にお尋ねください。

(2) その他

会長

その他について何かございますでしょうか。

(なし)

最後に、次回第4回の開催日についてですが、令和8年度に入ってから開催となります。開催日程につきましては、時期が近くなりましたら、改めて事務局から、委員の皆様と調整をさせていただくことになりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、皆様、本日の議事進行にご協力をいただき、ありがとうございました。では、進行を司会にお戻しいたします。

事務局

ご審議ありがとうございました。次回につきましては、会長からご説明がありましたとおり、令和8年度、おそらく5月頃の開催となる予定です。開催日程につきましては、時期が近くなりましたら、改めて委員の皆様と調整をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

3 その他

次第にお戻りいただきまして、3のその他ですが、何かございますか。

委員

せっかく予算をこれだけ圧縮できたので、団で欲しい資機材がたくさんあると思います。団員の安全確保のために必要だと思うので、執行部の皆様におかれましては、消防団のための予算の捻出を是非よろしくお願いいたします。

事務局

熱心なご審議大変ありがとうございました。今年度は3回に渡って議論を進めていただき、分団・部の統廃合、定員の削減について、様々なご意見をいただくことができました。

10月に開催いたしました第1回委員会でもご説明しましたとおり、部の統廃合及び定員の削減については、令和9年度から行うべく、来年度、できる限り早い段階で答申を出し、速やかに条例改正等手続きを進めていければと考えております。

また、団員の減少、とりわけ若い団員が減少していることにより、各種行事等の実施方法の見直しをはじめとした負担軽減や、処遇の改善等について、来年度以降も引き続き現役団において議論を続けていく必要がございます。

場合によっては、必要に応じ、本委員会委員の皆様のお考えをお聞かせいただくことがあるかもしれませんので、その際はよろしくお願いいたします。最後の委員からの意見もございましたので検討していきたいと思います。

なお、本委員会の報酬は、受け取りを辞退されている方を除き、3回分をまとめて指定の口座に振り込みをさせていただきます。

事務局

それでは、今年度の消防委員会につきましては、閉会とさせていただきます。公私ともにお忙しいところ、分団・部の統廃合及び定員削減について、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。